

保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和3年7月20日 No.7
大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

本日、終業式を迎えました。

今年度は4月からスタートすることができ、本当に良かったです。ですが、4月5日からのまん延防止重点措置、4月25日～6月20日までの緊急事態宣言、8月22日までのまん延防止重点措置と、新型コロナウイルス感染症対策に取り組む中での1学期となりました。

様々な制約がある中ではありましたが、臨時休業となることなく、また、2つの泊行事を無事に終えることができました。これも各ご家庭において、感染症対策・熱中症対策を含め、本校教育活動にご理解ご協力をいただきましたおかげです。誠にありがとうございました。来週にも2つの泊行事を控えておりますので、引き続きのご協力をお願いします。

昨年度の夏休みは2週間と短かったですが、今年度は例年通りひと月を超える休みとなります。感染症の影響もあり、お出かけ等はしづらい状況があるかもしれませんが、楽しく充実した夏休みとなりますようお願いしております。それでは、9月1日の始業式に元気な児童生徒に会えますことを楽しみにしています。

● 感染症対策を施した水遊び

今年度も残念ながら、感染症の状況によりプール学習は中止と判断しましたが、感染症対策を十分施した「水遊び」の取組みをご紹介します。

3色のビブスを身に着けた3つのグループに分かれて、密を避けるために「水鉄砲ブース」「プールブース」「おもちゃブース」の3つの場所を設け、時間を決めてそれぞれのブースを回り遊びました。

暑い中で水遊びをしている様子には、とても気持ちよさそうな笑顔がはじけていました。



● 自主単独通学での出来事

7月15日（木）の早朝、JR星田駅から忍ヶ丘駅の間で信号トラブルが起こり、電車が止まってしまった影響により振替輸送があり、京阪電車寝屋川駅も大混雑となりました。

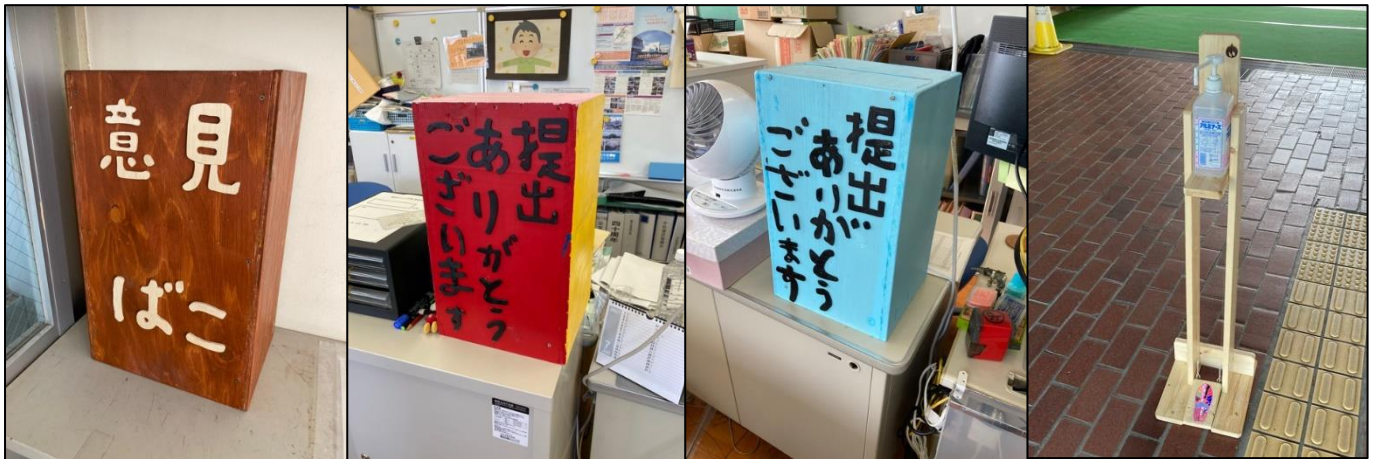
学校に向かう京阪バスが停まるバス停にも50人以上の列ができ、その中には本校の自主単独通学の生徒や先生方も並んでいたとのこと。先生から聞いた話では、大人でもイライラしてしまうような混雑する列や車中で、生徒のみんなが落ち着いて静かに過ごしていて、頼もしさを感じたとのこと。高等部を卒業すると、それぞれが自分に合った進路に進みます。毎朝、公共交通機関を利用して働きに出る生徒を想像するエピソードでした。

児童生徒が将来、豊かな生活を送れますよう、小学部・中学部・高等部を通して、本人・保護者の皆様の思いを聞かせていただき、それぞれの児童生徒にあったキャリア教育を進めて参ります。

● 高等部の製作物

高等部木工の授業で、学校で使用するものを作っています。以前ご紹介した「意見箱」、職員室に置いてあります「提出箱」、これらにつきましては、技師さんに箱を作ってもらい、着色や文字（木でできています）の接着を行いました。

校舎入口に置いてあります「足踏み手指消毒台」は製作から高等部の生徒が行いました。学校にお越しの際は、ぜひご利用ください。



● 芸術家の派遣事業活用

国の事業である「芸術家の派遣事業」を活用し、今年度は和楽器奏者の方に来ていただきました。琴・三味線・尺八、楽器の特徴の説明を受け、音色を聞きました。その後、合奏を聞かせてもらいましたが、雰囲気はお正月がきたようでした。最後にはトーンチャイムで合奏に参加し、日本の文化にふれました。様々な取り組みを通して、児童生徒の豊かな情緒を育てていきたいと考えます。



掲載している写真は、本人・保護者の方の同意に基づき、加工あり・加工なし、で掲載しております。